

にぎやかな大島を目指して

(多面的機能支払制度を活用した10年間の取組み)



大島みどりと水を守る会

大島みどりと水を守る会の概要

- 1 設 立 平成 20 年 3 月 15 日
- 2 目 的 構成員の共同活動を通じて、大島地区に存する農地・用水等の資源や農村環境の良好な保全と質的向上を図る。
- 3 構成員 82 名（農業者、自治会、小・中学校保護者会、老人会、（農）大島営農組合、ボランティア女性会、JA 女性会、食生活改善推進員、大倉土地改良区）
- 4 北栄町との協定対象面積（平成 26 年 9 月締結）

単位：a

位 置	北栄町大島集落			
農用地	地 目	田	畑	計
	協定農用地	6,389	305	6,694
	交付対象農用地	6,317	305	6,622
農業用施設	開水路	パイプライン	農 道	
	13.5 km (1.5km)	8.0 km	11.6 km	

(注) 表中()は、長寿命化の対象施設

- 5 交付金の額及び支出内訳(平成 30 年 3 月 31 日現在)
 - ・平成 20 年度～29 年度の 10 年間に交付された金額と使いみち

単位:千円

区 分	農地維持・資源 向上	先進的営農 活動支援	長寿命化	合 計
交付金総額	28,259	1,187	19,228	48,674
単年度(29年度)	3,126	-	2,416	5,542

- (1) 農地維持(農地、水路、農道等の地域資源の基礎的保全活動)

大島では、大口、金毛といった幹線排水路や各支線排水路の泥上げを中心とした活動を行っています。各排水路とも泥の堆積が多く、毎年の取組みが必要です。

水田の草刈りについては、交付金支払の対象にしていませんが、大島営農組合をはじめ各農家で適切に実施されています。平成 29 年度からは、土手（水田側）や農道の路肩の草刈りを大島営農組合に委託し、構成員の負担軽減を進めました。
- (2) 資源向上（地域資源の質的向上を図る共同活動）

水路、農道等の軽微な補修や農村環境を保全する活動です。

これまで、日焼用水の漏水防止やパイプラインの給水栓補修などの自主施工を行っ

てきました。水路のU字溝の取り換えなど、私達では施工できない工事については業者へ委託し、施設の適正管理を図っています。

農村環境保全活動については、大島地区の入り口に当たる池畷地区にアジサイ等を植えた「はなはなロード」を設置するほか、日焼、西ヶ崎道下地区の水田を活用してヒマワリを植えた景観形成活動を行っています。

子供達に農業の楽しさを体験してもらうとともに、地域住民のふれあい・交流を進めるため、田植え、稲刈りの体験活動も行っています。今後は、体験だけにとどまらず、稲作全体の学習へと発展して欲しいものです。

平成26年度からは、多面的機能支払制度へと変更され、追加の活動が必要となったため新たに「外来種の駆除」に取組み、ヌートリアの駆除、オオキンケイギクの除去を進めています。

(3) 先進的営農活動（21年度～23年度の3年間実施）

環境にやさしい農業を進めるために制度化され、化学肥料や化学農薬を慣行栽培に比べて5割以上削減する取組みです。河原端沖、半兵衛沢水田等で実施しましたが効果等が認められず、制度変更を契機に取組を中止しました。

(4) 長寿命化（施設の長寿命化のための活動）

農地周りの施設の長寿命化のため、23年度に制度化された取組みで、補修や更新等を行うものです。

大雨時に浸水被害を受けやすい大島では、排水路法面の浸食防止の観点からコンクリート張への補修を進めています。標高が低く、湧水箇所もあるため、排水不良水田が多いことから、暗渠排水の補修にも取り組んでいます。

6 活動の成果

(1) 活力ある村づくりへ役立つ活動

田植、稲刈り、はなはなロードの草取り等の活動時には、子供達とおじいさん、おばあさんが一緒に作業し、助け合う姿が見られます。収穫したもち米を使って、学校帰りの子供達に「おはぎ」を振る舞う老人会の取組も定着しています。このように、各種団体が活動を通して連携を深めることが村づくりへの近道だと考えます。

(2) 農地、水路、農道が適正に管理されている。

泥上げ、草刈、補修活動等を確実に行うことで、大島地内には遊休農地がありません。

(3) 営農組合の法人化を支援

平成23年2月、北栄町第1号の農事組合法人として大島営農組合が設立されました。当会では、先進地視察等法人化への取組を支援しました。

7 今後の課題

(1) 活動の固定化

毎年同じような活動内容であったり、参加する人も同じような顔ぶれになってきま

した。事業の趣旨から止むを得ない面もありますが、新たな要素を取り入れる必要がありそうです。

(2) 高齢化への対応

活動参加者は、老人と子供達が多く30～50代の参加者は限られます。役員も高齢化が進んでおり、活動を次の世代へ円滑に引き継ぐ仕組みづくりが急がれます。



◎ 具体的な活動状況

1 農地維持



点検・機能診断



点検・機能診断



土手の草刈り



幹線排水路の草刈り・泥上げ



支線排水路の泥上げ(人力)

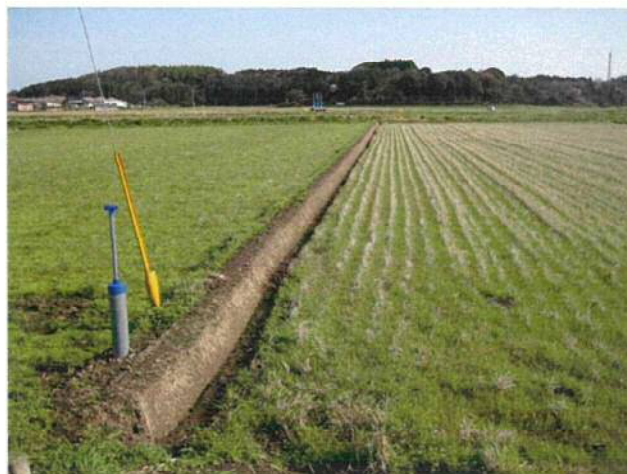


支線排水路の泥上げ(重機)

2 資源向上



落水口の補修



畦畔の再築立



給水栓の補修(委託)



給水栓の補修(自主施工)



日焼用水の漏水防止



日焼用水の漏水防止



はなはなロードの除草



ヒマワリの播種



田植え体験



稲刈り体験



外来種駆除(ヌートリア)



外来種駆除(オオキンケイギク)

3 向上活動



浸水被害(23年9月台風12号)



水路法面補修工事発注準備(測量・設計)



中間検査(法面整形後)



完成検査



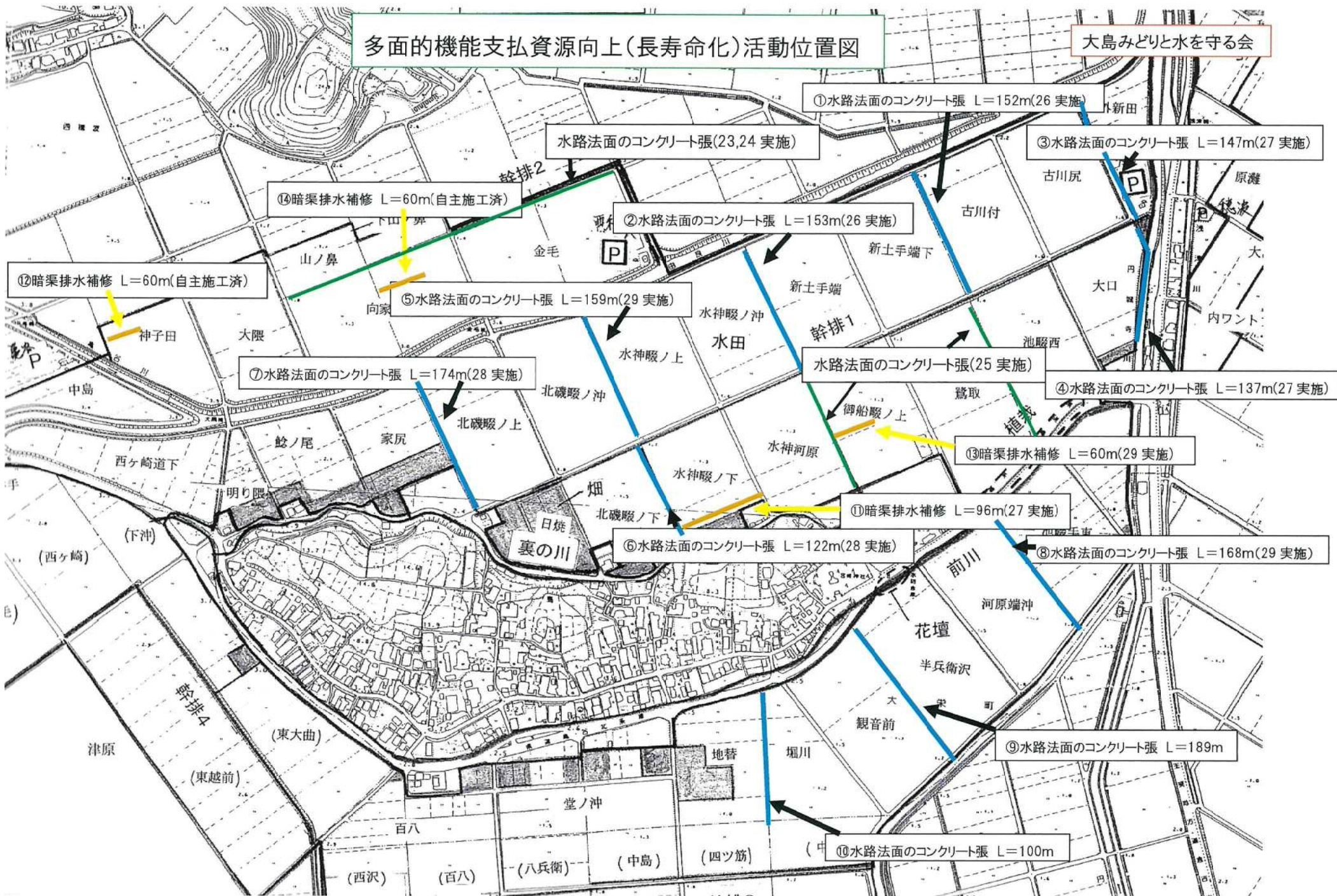
暗渠排水の補修(御船畷)



暗渠排水の補修(御船畷)

多面的機能支払資源向上(長寿命化)活動位置図

大島みどりと水を守る会



これからも皆様のご協力・ご参加をお願いします。



大島みどりと水を守る会役員一同